

Z会進学教室 葛西通信 10月号

葛西教室に通う本科生の皆さんは、以下の四点を心がけるようにしましょう。

- 1 進学塾に通う中学生としての自覚を持つこと。
- 2 信頼の土台となるあいさつをきちんとすること。
- 3 書くことを大切にし、ノートをしっかりとること。
- 4 自習室を上手に利用し、自分で考えてもわからないことは遠慮なく先生に質問すること。

葛西教室より

葛西教室の先生の声をお伝えします。

「異文化に触れ、今の常識を疑う」

数学科 鈴木 慎一先生

月曜日朝7時30分。目覚ましの音で起きる。今日はゴミの日だ。ゴミをまとめてマンションのゴミ収集所に持っていく。そして、もう一度寝る。ゴミ出しさえなければもっと朝寝坊できるのに。なんで「朝8時までにゴミを出す」なんて決まりがあるのだろう。

会社勤めのサラリーマンがみんな9時から仕事を始めると思ったら大間違い。我々塾屋のように午後出勤もあれば深夜勤務の人もある。なぜ多数決のような決まりになってしまったのだろう。

皆さんにとってはあたり前すぎて、疑問に感じたことすらないかもしれないが、私が今まで暮らしてきた数々の国では「決まった時刻までに決まった場所にゴミを持ち寄る」なんてルールは一度も経験したことがない。

初めて葛西通信で私を知る方のために軽く自己紹介をすると、私は24歳で東京の某学習塾を飛び出してから、40過ぎにZ会に拾われるまで、約20年の大半を海外の学習塾で働いていたのである。

私が今まで経験した海外のゴミ事情を考えると、次の3つのパターンに分けられる。



1. ゴミを出す場所は決まっているが、時間帯は自由

私が暮らした国だと、中国や香港がこれに該当する。だいたいマンションの廊下の一角や階段の踊り場などにゴミを置いておくと、管理人のおじさんかおばさんがいつの間にか回収してくれる。時間を気にする必要もないし、ゴミをもってエレベーターに乗ることもない。

2. マンションに「ダストシュート」がついている

これはシンガポールやロシアで経験した。各家庭のキッチンや廊下に「ゴミを投げ入れる穴」があり、地上から最上階まで吹き抜けのようになっていて、そこにゴミを投げ入れれば、地上の集積所に集まる、という仕組み。超便利だった。ただ、これは住民が集合住宅に

住んでいることが前提なので、戸建てに暮らしているブルジョアがどんなゴミ出しをしているかは定かではない。

3. 清掃担当のお手伝いさんがやってくれる

基本的に貧富の差が大きい国では、身の回りの世話をするお手伝いさんがいるため、自分でゴミを処理したり、ましてや部屋の掃除をしたりすることもなかった。

私が暮らした国だと、インドやUAEなんかが該当する。UAEでは、外国人が暮らすような集合住宅では、ハウスキーピングサービスが付帯していることがほとんど。私がドバイで暮らしていたときは、掃除やゴミ出しに加えて、ベッドメイキングやキッチンの洗い物なども全部やってくれたので、「片付けが面倒だから自炊をしない」という負のスパイラルに陥ることなく、自炊を楽しむことができたと記憶している。



このように、ゴミの出し方ひとつ取っても国が違えば習慣も違う。日本はなぜこのシステムに落ち着いたのか、そしてそのメリット・デメリットって何だろう?と考えるのも面白い。

日本と海外の違いを他に挙げるとすると、日本は電車の中で「飲食OKだけど携帯の通話はNG」なのに、海外だと「携帯の通話はOKだけど飲食はNG」であることが多い。特に地下鉄や都市部の鉄道やバスなどは飲食NGであることが多い気がする。なんでだろう。やっぱり汚すのかな。

あ、シンガポールでは電車やバスは「ドリアンNG」です。臭いから。



交通機関で言えば「時刻表が無い」ことも多い。電車だと駅に行くと「あと〇分で電車が来る」という案内があるので、特に気にならないが、バスは停留所に「〇分間隔」としか書いていないことが多い。それで困ったのがオーストラリアのブリスベン。夏休みを利用した短期留学の引率で訪れたのだが、なぜか引率の私もホームステイをさせられた。そのホームステイ先へ帰るのに、バス停にはまさかの「every 60 minutes」の表記が。それって、数分後に来るかもしれないけど、1時間待つことになるかもしれない・・・ってことだよ。そんなバスをよくオーストラリアの人たちは利用できるものだと感心した。今はスマホとGPSで何分後にバスが来るかわかるんだろうけど、一昔前の人たちはずいぶんとおおらかというか、気が長いというか。



交通ルールで「車より人が優先」というのもアジア圏では完全に逆だったな。きっと日本をはじめとする欧米諸国などでは「人=弱いもの」を守るために優先するのだけれど、今まさに豊かになろうとしている国々でそんな余裕や気遣いはない。ただ、私は日本の「車より人が優先」ルールが大嫌い。私は待つことは嫌いではないが待たされることが大嫌い。しかし「人を待たせること」はもっと嫌い。交差点で人と車が出会ったとき、例えば車が先に通れ

ば人が待つのは1秒で済むのに、人が先に通ることで車は10秒待つことになる。合理性を考えれば車を先に通すべきだし、何より横断歩道を渡るときに「車を待たせているから早く渡らなきゃ」という無言のプレッシャーが嫌。1秒待って車が先に行ってくれた方がストレスが無い。

最後に、日本人にとってのこんな「常識」について考えてみたい。

私が、中国で日本語教師をしていた頃のできごと。日本語や日本文化を学んでいる中国人から、こんなことを言われたことがある。

「先生、日本人はすごいね。だって『人に迷惑をかけてはいけない』って、小さい頃から教わるんでしょ」と。

その時、私は「なんでそんな当たり前のことを、すごいと言われるんだろう」と思ったものだ。皆さんにとっても当たり前ではないだろうか。子供が親や大人に怒られる原因は様々だが、親に激怒されるポイントが「人様に迷惑をかけてしまったとき」であることは少なくない。確かに、幼少のころから私たちは、周囲に迷惑をかけないよう教育されてきている。

当時の中国は、他人を出し抜いてでも、自分が豊かになる、いい思いをすることをなりふり構わず求めている印象があった。たった1元（約15円）のペットボトルの水でさえも、偽物が紛れているので気をつけろと言われてたり、一見さんを目当てにしたターミナル駅付近の飲食店はただのぼったくりだから行くなと言われてたりする度に、日本は「民度の高い国」で、中国は「民度の低い国」という思いを強くしたものだ。



その後、数年が過ぎて私の「民度の高い国・日本」の地位を揺るがす出来事が訪れる。インドに住んだときのことである。

「日本人は『他人に迷惑をかけてはいけない』と教育されるが、インド人は『他人に迷惑をかけずには生きていられないのだから、他人の迷惑に寛容になりなさい』と教育される」と知ったのだ。

他人の迷惑に寛容になるなんて、とても難しいことだ。きっとイライラしたり文句を言ったりしてしまいそうな自分が容易に想像できる。しかし、だ。そもそも、私が日本を離れ、海外で長く生活した理由の1つに、日本の「無言の同調圧力」に対する嫌悪があった。他人に迷惑をかけないように自分自身も心がけるが、他人にも強いる。そんな日本での人付き合いは鬱陶しいと感じていたのも確かであったのだ。

他人から迷惑を受けない代わりに、他人に迷惑がかかることができない日本と、他人にかける迷惑をさほど気にしなくて良い代わりに、他人から迷惑を受けることがあるインド。どちらが良い悪いという話ではない。皆さんだったらどっちに住みたいと思いき、どっちがより魅力的な社会だと思うか、考えてみてほしい。

外国に行くというのは、日本以外の文化に出会うこと。その最大の価値は自分と異なる常識や価値観に出会えることだと思っている。昨今、若者の海外旅行離れは進んでいるが、学生の海外留学は増えている。ぜひ、若いうちに異文化をたくさん体験して欲しいと願う。



スケジュール								
月	日	曜	受付	本科生スケジュール				本科生以外の方対象のイベントなど
9	26	日	10 ~ 20	本科10月度①	3K 実力テスト	2V 月例テスト	1V 月例テスト	6V開講
	27	月	14 ~ 22					
	28	火	14 ~ 22					
	29	水	14 ~ 22					6V開講
	30	木			休室			
10	1	金	14 ~ 22					
	2	土	14 ~ 22					
	3	日	10 ~ 20	本科10月度②				
	4	月	14 ~ 22					
	5	火	14 ~ 22					
	6	水	14 ~ 22					
	7	木			休室			
	8	金	14 ~ 22					
	9	土	14 ~ 22					
	10	日	10 ~ 20	本科10月度③				
	11	月	14 ~ 22					
	12	火	14 ~ 22					
	13	水	14 ~ 22					
	14	木			休室			
	15	金	14 ~ 22					
	16	土	14 ~ 22					
	17	日	10 ~ 20	本科10月度④				
	18	月	14 ~ 22					
	19	火	14 ~ 22					
	20	水	14 ~ 22					
	21	木			休室			
	22	金	14 ~ 22					
	23	土	14 ~ 22					
	24	日	10 ~ 20	本科11月度①	3K 実力テスト	2K 月例テスト	2V 月例テスト	1V 月例テスト
	25	月	14 ~ 22					
	26	火	14 ~ 22					
	27	水	14 ~ 22					
	28	木			休室			
	29	金	14 ~ 22					
	30	土	14 ~ 22					
	31	日	10 ~ 20	本科11月度②				
11	1	月	14 ~ 22					
	2	火	14 ~ 22					
	3	水	14 ~ 22					
	4	木			休室			

Z会の教室

Z会進学教室 葛西教室

〒134-0084 江戸川区東葛西 6-2-3 第三須三ビル 6階 TEL03-5878-0844

受付時間 平日 14:00~22:00

日曜日・講習中 10:00~20:00

『葛西通信』の記事（バックナンバー）は Web からご覧いただけます。

Z会 葛西 検索